

放課後等デイサービス 事業所向け 自己評価表 (平成30年度版)

参考⇒放課後等デイサービスガイドライン「事業者向け放課後等デイサービス自己評価表」

事業所名 (社会福祉法人山の都福祉会 放課後等デイサービス事業所さくら)

記入者氏名 (野澤奈津美)

評価期間 (3月1日～2月28日)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	<input type="radio"/>			
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			月1回の職員ミーティングを実施。利用者ひとりひとりの振り返りと課題をあげ全員で共有している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現状外部評価は行われていない。検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			外部の研修や法人内の研修へ積極的に参加。パートさんの参加が課題

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月1ミーティングで課題の見直しを行っている
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		曜日で固定化しない様に案は出しあうが、個々の利用者に合わせると現状限界があるのでもっと重心でもできる活動を勉強していく
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			保護者、学校と情報共有を行い、その時その時に合った課題に取り組んでいる
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			時間差出勤の職員もいるので業務分担表を毎日作成。全員の配置や、やるべき事が誰が見ても一目でわかる様にしている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日誌や記録を通じて全員に情報を共有できるようにし、毎日確認をしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌、個別記録を毎日実施
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月1の会議で行い、必要があれば保護者ともモニタリングを行い見直しをしている

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか		○		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその 子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画し ているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、 子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の 対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている か	○			学校との情報共有は毎日の下校時、何かあった際 の電話連絡を行うなどかなり密にとれている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子 どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			医的ケア児で緊急を要する子を受け入れる際は必ず一度医師に事業所 へ訪問して頂いているが、吸引等のお子さんは紙ベースのやりとりや 相談支援員を通じてのやりとりとなっている。

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係 機 関 や 保 護 者 と	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めているか	○			必ず引継ぎ会議を行い、市の担当者も交えながら児 童の情報共有を行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障 害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまで の支援内容等の情報を提供する等しているか			○	まだ対象児はいませんがその時期がきたら会議に参 加させて頂き、情報提供を行っていきたい
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等 の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	連携はいつでもとれる体制。研修は機会があれば今 後参加していく
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか			○	高齢者との交流はあるが子どもとの交流はできていない 今後検討していく
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している か	○			

の 連 携	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳でのやりとりや送迎時にその日の様子や近況を共有できている
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングまではいかないが助言は行っている
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明している
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			話やすい環境づくりをしている
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者同士の関係性を考え今のところ開催する予定はない
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			理解してもらえる様誠意をもって対応している
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			年4回活動写真をメインにさくらだよりを発行。保護者や学校から好評です。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑳	個人情報に十分注意している	○			
	㉑	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉒	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		法人としては行っているがさくら独自はなし

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		保護者へは契約時に説明。職員は月1ミーティングで確認を行っている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に避難訓練を行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人で虐待防止委員会を月1回行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		外への脱走意識の高いお子さんは保護者からの希望で施設内のドアの鍵の施錠を行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時に確認を行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事故防止委員会を月1で実施。その際に共有している。